

鳥 獣 被 害 対 策 事 業 一 覧

H21予算

H22当初予算（案）

◎ シカ被害特別対策事業 【 103,643千円 → 118,966千円 】

シカによる農林業被害及び自然植生被害が深刻な事態に立ち至っている。このため、市町村が行うシカの有害捕獲への助成、狩猟期における捕獲報償金の支給、三嶺・黒尊など山岳地での捕獲、シカ肉利用促進など、総合的なシカ被害対策に取り組む。

事業メニュー	事業の内容	事業実施主体	予算額
①シカ被害特別対策事業費補助金	<p>☆捕獲報償金 シカの有害鳥獣捕獲にかかる報償金支出経費への助成 補助率：1／2</p> <p>☆捕獲檻 シカ用捕獲檻、囲いわなの購入経費への助成 補助率：1／2</p>	市町村	28,100千円
②シカ個体数調整事業	<p>ア 狩猟期のシカ捕獲対策</p> <p>☆シカの個体数を効果的に削減するため、狩猟期に捕獲報償金を支出することにより、短期・集中的にシカの個体数調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲報償金 8,000円/頭 ・市町村に委託 <p>イ 山岳地のシカ捕獲対策</p> <p>☆三嶺、黒尊などシカによる自然植生への食害が激しい地域においては、緊急にシカの個体数調整が必要であることから、こうした地域を特定してシカの個体数調整事業(捕獲)を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社)高知県獣友会等に委託予定 	県	73,333千円
③シカ肉利用促進事業	<p>☆シカ肉事業化支援事業費補助金 簡易な設備整備、組織づくりなど事業実施体制づくり、商品開発など事業化に要する経費への助成。 補助率：定額（500千円を上限とする。）</p> <p>☆シカ肉販路拡大事業 バント支援、関係者の検討組織づくり、ポスター作成、先進地調査など</p>	民間団体、農協婦人部、生活改善グループなど 県	1,000千円 744千円
④ニホンジカ生息数モニタリング事業	☆ニホンジカによる被害が拡大していることから個体数調整事業に取り組んでいるが、事業の効果やシカへの影響などを的確に捉えて必要な対策を講じるためには、シカの生息数や被害状況などの正確なデータを得る必要がある。このため、生息数のモニタリング調査を実施する。	県	9,971千円

◎ 鳥獣被害対策担い手育成事業 【617千円 → 597千円】

地域における鳥獣被害対策の取り組みを前進させるため、鳥獣被害対策に積極的に取り組むリーダーとなる人材を計画的に育成する。

事業メニュー	事業の内容	事業実施主体	予算額
①鳥獣被害対策担い手育成事業	<p>☆地域において鳥獣被害対策のリーダーになるとともに行政や関係団体とのつなぎ役ともなっていただく人材を育成する。</p> <p>対象者：地域住民、ボランティア、農協職員、森林組合職員、獣友会会員など</p>	県	597千円

◎ 鳥獣被害緊急対策事業費補助金 【17,000千円 → 17,000千円】

野生鳥獣による農林業被害や生活被害を防止するため、防除や捕獲などの総合的な被害防止対策を推進する。

事業メニュー	事業の内容	事業実施主体	予算額
①鳥獣被害緊急対策事業補助金	<p>☆防除対策事業 防護柵設置等経費に対して助成する。 補助率：1／3</p>	市町村	10,000千円
	<p>☆捕獲対策事業 有害鳥獣の捕獲に要する経費に対して助成する。 • 捕獲報償金（シカを除く。） • 捕獲奨励金 • 捕獲檻等購入費 • 有害鳥獣被害防止体制整備 補助率：1／3</p>	市町村	7,000千円